

7/18(日) 坂の上の雲 フィールドミュージアムツアー

『ロシア金貨の謎』

日露戦争当時、捕虜として松山にきたロシア人青年将校と、松山で働いていた日本人看護師の名前が彫られたロシア帝国金貨(松山城二之丸跡出土)の謎に迫るツアーを開催します。専門家と一緒ゆかりの地を訪ねてみませんか。

【日時】7月18日(日)8時30分～12時30分

【対象】市内在住の人(中学生以下は保護者同伴)

【定員】40人程度(応募多数)

【コース】二之丸史跡庭園(集合)→歩兵第22連隊兵営跡(堀之内)→城北練兵場バラック跡(文京町)→坂の上の雲ミュージアム(パネルディスプレイ)など

【申込方法】7月12日(月)必着。までに往復はがきで参加者全員の住所、氏名、年齢、代表者の電話番号を〒7900001一番町三丁目20坂の上の雲ミュージアム「フィールドミュージアムツアー」係へ

【参加料】1人500円(バス代・入館料)、当日集金

【申込方法】7月12日(月)必着。までに往復はがきで参加者全員の住所、氏名、年齢、代表者の電話番号を〒7900001一番町三丁目20坂の上の雲ミュージアム「フィールドミュージアムツアー」係へ

【対象施設】人が集まる民間施設など

【内容】新聞「日本」や正岡子規関係資料のパネル15枚

【設置方法】三脚によるパネルの設置(三脚の貸し出し可)

【申し込み】随時、電話で坂の上の雲ミュージアムへ

【時間】7月3・10日(日)9時～19時30分まで

【7月17・24・31日(日)9時～18時30分(入館は18時まで)】

【お問い合わせ】9153600



坂の上の雲ミュージアムで展示中の金貨



7月限定

土曜は浴衣で入館無料

50万人達成記念

月の毎週土曜日限定で、浴衣(着物を含む)を着ている人の入館料を無料に

祝 50万人達成 ミュージアム 来館者

坂の上の雲ミュージアムの来館者数が6月4日、50万人を達成しました。

50万人目となったのは宝塚市の本屋敷功さん。「15年前



永年パスポートを受け取る本屋敷さん(右)

まで3年間、松山に住んでいた。来館を楽しみにしていました。松山はずっと住み続けたかった街。次回は家族全員で来ます」と話しました。本屋敷さんには、中村市長と松原館長から、認定書のほか、有効期限無しの無料観覧パスポートなどが贈られました。

お問い合わせは、坂の上の雲ミュージアム ☎ 915 2600

集 企画展資料 パネルの展示施設

坂の上の雲ミュージアム 第4回企画展テーマ展示「日露戦争と明治のジャーナリズム」新聞「日本」と子規の資料をパネル展示できる施設を募集しています。

【展示期間】8月1日(日)～平成23年2月20日(日)の2週間以上

【対象施設】人が集まる民間施設など

【内容】新聞「日本」や正岡子規関係資料のパネル15枚

【設置方法】三脚によるパネルの設置(三脚の貸し出し可)

【申し込み】随時、電話で坂の上の雲ミュージアムへ

【時間】7月3・10日(日)9時～19時30分まで

【7月17・24・31日(日)9時～18時30分(入館は18時まで)】

【お問い合わせ】9153600

秋山真之の書簡寄託

小説「坂の上の雲」の主人公の一人、日露戦争当時、



真之の書簡(写真手前)を寄託した丸岡さん(中央)

連合艦隊の参謀を務めた秋山真之の直筆書簡1通が5月21日、坂の上の雲ミュージアムに寄託されました。真之の海軍の後輩で、後に反戦思想家として活躍した本市出身の水野廣徳あてに1931年に書いたとみられ、日露戦争の黄海海戦(1904年)の様子が記されています。

寄託した丸岡昭三さん(辻町)は「多くの人に見てほしい」と話し、同ミュージアムでは、歴史的事実を検証し、公開を検討します。

戦後65年 平和に関するイベント

戦争の惨禍を風化させることなく次世代に語り継ぎ、誰もが幸せを実現できる平和な社会を築くため、市民の皆様から提供いただいた貴重な遺品や資料、写真を展示するほか、平和の語り部イベントを開催します。

平和資料展

【日時】7月24日(土)13時～21時、25日(日)9時～21時、31日(日)9時～17時

※7月26日(月)は休館日です

■松山空襲体験談発表(平和の語り部)

【日時】7月25日(日)14時

■平和おはなし会

【日時】7月31日(土)11時～13時

【会場】いずれも総合コミュニケーションセンター(湊町七丁目)1階コミュニティプラザ

松山市戦争犠牲者 平和祈念追悼式

【日時】7月26日(月)10時

【会場】平和記念広場(道後姫塚)

【内容】戦争犠牲者の追悼や小中学生による平和に関する作文の朗読など

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎ 948 6381

814・FAX 934 3157

市民が見つけた善行事例紹介 清掃奉仕続ける姿に感動

市では、あなたの身近な「ちよっとした思いやり」や「温かな気持ち」など、心がほのぼのとする情報を募集しています。今回、寄せられた事例を紹介いたします。

○愛媛信用金庫中央通支店の職員の方々は、店舗から近くの神社階段付近までの一帯を開店前の約20分間、長年にわたり毎営業日、清掃しています。この道路を通るたび感謝の気持ちがわいてきます(推薦者・山口光昭さん)

○高木友一さんと橋本浩明さんは、小野川の天山橋の土手沿い約800mの区間の清掃

夏休み親子消費者教室

【日時】7月30日(金)9時30分～15時

【会場】コムズ(三番町六丁目)

【内容】乳製品を使った料理教室と牛乳パックをリサイクルした手すきはがき作り教室

【対象】市内在住の小学3年生、中学3年生とその保護者

【定員】15組(約30人・先着順)

【料金】1人300円

【申し込み】7月20日(火)必着までに、電話またはファクス、eメールで住所、氏名(ふりがな)、学年、保護者氏名・電話番号を〒7908571市消費生活センター「夏休み親子消費者教室」係 @shouhi@city.matsuyama.ehime.jp

お問い合わせは、市消費生活センター ☎ 948 6381

768

【募集内容】具体的な善行内容(日時、場所、具体的な内容など)▼善行者の住所、氏名(明らかでない場合も受け付け可)▼推薦者(あなたの氏名、連絡先、推薦コメント(必ず記入))

※情報を紹介する場合は、推薦者の氏名も公開します

【応募方法】推薦書(公民館、支所、市ホームページにあります)を郵送またはファクス、eメールで〒7908571市民参画まちづくり課 @simin@city.matsuyama.ehime.jp

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎ 948 6381

3・FAX 934 3157

